

プライベートはウチ余暇を楽しむ

～家で日常を大切にする、新しいフツウの暮らし～

東京ガス都市生活研究所が1990年から3年ごとに行っている「生活定点観測調査」から生活者の意識・行動の変化の兆しを捉えたところ、余暇の意識や過ごし方の変化が見られました。生活者が望むこれからのライフスタイルを予測します。

仕事より、余暇を楽しむ生活へ

生活の力点を「余暇」におく人が過半数を占めるように

今の生活で、生活の力点を仕事にしているか余暇にしているかを聞いたところ、2011年以降、余暇に力点を置く人が増加し、2017年には過半数を占めています(図1)。仕事については、自己実現に重きをおいている人は減少しており、仕事に対する意識が変化しているようです(図2)。

図1. <生活の力点>

A 仕事にしている B 余暇にしている

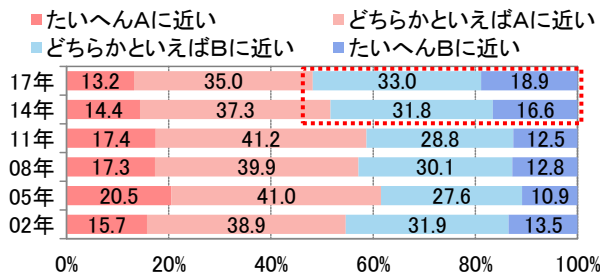
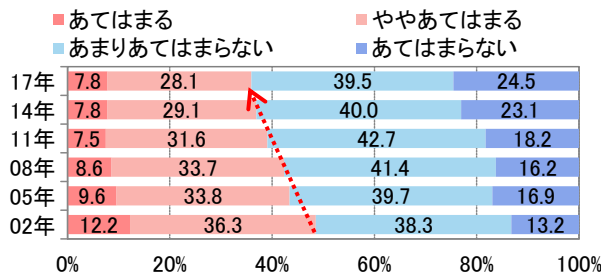


図2. <仕事に対する意識>

仕事は給料のためというより、自己実現に重きをおいている



余暇の過ごし方は、特別なレジャーより家での日常重視へ

余暇といえばレジャーや旅行が思い浮かびますが、自然の中でレジャーを楽しむ人は減少しています(図3)。一方で、今後重視して行きたいこととして増加しているのは、「睡眠」「料理」「ひとりで過ごす」など、家での日常的な生活行為でした(図4)。

図3. キャンプや森林浴など自然の中でレジャーを楽しむこと

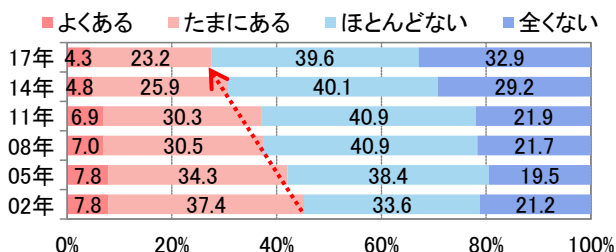


図4. 今後の生活で重視して行っていきたいこと

